

かしこく
やさしく
たくましく

宝島だより

<http://www.toshima-sc.net/takara/>

十島村立宝島小・中学校
児童・生徒数22名
学校だより3月号
令和6年3月19日

偶然の出会いと必然の別れ

校長 下村 尚

この1年間を振り返ってみると、いろいろな形での出会いと別れがありました。赴任期間を振り返ってみるともっと多くの数になります。3月という節目にあたり、偶然の出会いと必然の別れについて感謝の気持ち（おかげさまでという気持ち）を込めて書いてみたいと思います。

2月の末にメジャーリーガーの大谷選手が結婚を発表しました（どんな偶然があったのでしょうか？）が、配偶者にしろ、親子・兄弟姉妹の関係にしろ、『出会い』は偶然です。また、職場の仲間や地域の方々との出会いも全く偶然の積み重ねになります。「もしあの時、○
○していたら、あなたの人生は今と同じだったでしょうか。」「もしあの時、○○していなかったら、あなたの人生は今と同じだったでしょうか。」多分違っていることと思います。これが出会いの偶然だと考えます。



『出会い』とは対照的に『別れ』は必然です。これは若干早いか遅いかの問題でしかないと思います。人間誰しも『別れ』から逃れることはできません。様々な別れが私たちを待ち受けています。特にここ十島村は、中学生卒業時に「島立ち」となり、特別な『別れ』を感じます。中学生の保護者にとっては中学へ入学し3年後にやってくる『別れ』です。子供の反抗期が早ければ、心理的な『別れ』は今でもあるのかもしれませんが。「だからどうしたらいいのか」という問いに対して、回答することはできませんが、言えることは「今現在の子供との付き合い方を精一杯楽しむこと」ではないかと思います。

季節の食べ物には『旬』があります。『旬』はいつまでもあるものではありません。子供との付き合いにも『旬』があります。進学・進級にあたり、もう一度付き合い方について考えることも大切だと思います。

私たち教職員と子供や保護者、地域の方との関係も全く同じです。お互いに相手を選ぶことはできません。全くの偶然の積み重ねです。

やがて来る4月。教職員という職業はその『出会い』と『別れ』をほぼ毎年のように繰り返しています。そして、この3月を迎え子供たちとの必然の『別れ』の月となりました。

さて、今回はどのような別れとなるのだろうか。『心に深い思い出を刻んで』別れられるのだろうか、それとも・・・

『別れ』をどのように捉えるかは、人生においても重要なことと考えます。本年度も保護者、里親、地域の皆さまから大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。



来年度から義務教育学校としてスタートする宝島学園に今後ともご支援とご協力をよろしく願います。

新しい道へ！ 卒業式

9日（土）、小学校第89回、中学校第74回、宝島小・中学校として最後の卒業式が挙行されました。本年度の卒業式では、小学校を有嶋航さん、竹内楽花さん、戸崎碧彩さん、戸崎碧來さん、眞嶋佳音さん、本名百竹さん、松下晏奈さん、中学校を眞嶋友梨佳さん、松下真奈さんが卒業を迎えました。眞嶋友梨佳さんは船の影響でリモートでの参加になりましたが、静岡から元気に出席してくれました。在校生お祝いのことばでは、児童生徒会長の舟木蒼哉さんが代表して卒業生との思い出や感謝の気持ちを伝えてくれました。

また、卒業生お礼のことばでは、小学校卒業生は元気よくこれまでの思い出を、中学生は高校生活へ向けての目標などを語ってくれました。この宝島小・中学校で学んだことを活かして、新しい生活チャレンジしてくれると思います。御出席の皆様ありがとうございました。



中学校卒業生



小学校卒業生

島立ち 新天地へ

15日の午後、中学校を卒業した松下真奈さんが島を旅立ちました。中学校卒業生は2名とも進路を決定し、新しい場所で新しい生活を始めます。

船の影響であおがしま丸での出発でしたが、出発式で元気なあいさつをしてくれた卒業生。

後輩たちもその姿を見送り、宝島学園の新しい歴史を作っていくことを誓いました。



4月の主な行事予定

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ○8日（月）宝島学園始業式・入学式 | ○13日（土）避難訓練（地震・津波） |
| ○17日（水）年度初めPTA | ○18日（木）19日（金）家庭訪問 |
| ○19日（金）PTA総会 | ○23日（火）釣り体験学習 |
| ○26日（金）スケッチ大会 | |